

JIS

鉄基アモルファス帯

JIS C 2534 : 2017

(JEMA/JSA)

平成 29 年 3 月 21 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第二部会 電気技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	大崎 博之	東京大学
(委員)	青柳 恵美子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	岩本 光正	東京工業大学
	上原 京一	IEC/ACTAD エキスパート (株式会社東芝)
	加藤 正樹	一般財団法人電気安全環境研究所
	木戸 啓人	電気事業連合会
	熊田 亜紀子	東京大学
	酒井 祐之	一般社団法人電気学会
	下川 英男	一般社団法人電気設備学会
	高村 里子	全国地域婦人団体連絡協議会
	前田 育男	IEC/ACOS エキスパート (IDEC 株式会社)
	山田 美佐子	千葉県消費者センター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 29.3.21

官 報 公 示：平成 29.3.21

原 案 作 成 者：一般社団法人日本電機工業会

(〒102-0082 東京都千代田区一番町 17-4 電機工業会館 TEL 03-3556-5881)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第二部会 (部会長 大崎 博之)

審議専門委員会：電気技術専門委員会 (委員長 大崎 博之)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 分類	2
5 アモルファス帯の種類の記事	2
6 一般的要求事項	4
6.1 製造方法	4
6.2 供給形態	4
6.3 納品状態	5
6.4 表面状態	5
6.5 切断性	5
7 特性及び許容値	5
7.1 磁気特性	5
7.2 寸法及び形状並びにそれらの許容差	6
7.3 その他の材料特性	7
8 検査及び試験	7
8.1 一般事項	7
8.2 サンプルの採取	7
8.3 試験片の準備	8
8.4 試験方法	8
8.5 再試験	9
9 マーキング、ラベリング及びこん包	9
10 クレーム	9
11 購入者が発注時に提供する情報	10
12 試験成績表	10
附属書 A (参考) 1.5 T における鉄損の最大値	11
附属書 B (規定) アモルファス帯の占積率測定方法	12
解 説	14

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本電機工業会（JEMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

鉄基アモルファス帯

Fe-based amorphous strip delivered in the semi-processed state

1 適用範囲

この規格は、呼称厚さ 0.020 mm～0.030 mm の最終焼きなましを施していない状態の鉄基アモルファス帯（以下、アモルファス帯という。）の、特に、一般的要求事項、磁気特性、寸法・形状及びその許容差、その他の材料特性、並びにこれらの検査方法について規定する。

この規格は、磁気回路の構成用途の急冷凝固した状態の casting エッジをもつコイルで供給するアモルファス帯に適用する。

これらのアモルファス帯には、次の 2 種類の材質がある。

- 普通材 (conventional grades)
- 高磁束密度材 (high permeability grades)

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 2535 単ヨーク形単板試験器による鉄基アモルファス帯の交流磁気特性の測定方法

JIS C 2550-2 電磁鋼帯試験方法—第 2 部：寸法・形状の測定方法

JIS G 0404 鋼材の一般受渡し条件

JIS G 0415 鋼及び鋼製品—検査文書

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS C 2550-2** によるほか、次による。

3.1

ぜい（脆）性スポット (brittle spots)

アモルファス帯を引き裂いたときに、裂け目の経路、方向の変化、破片分離などの、アモルファス帯の損傷が生じた領域。

3.2

引裂きぜい性 (strip tear ductility)

アモルファス帯のぜい性を表す指標。このぜい性は、一定長さのアモルファス帯を casting 方向に引き裂いたときに生じるぜい性スポットの数で区分する（表 4 参照）。

3.3

casting ロール (casting roll)

溶融合金をその上に注いで急速冷却帯を製造する、回転冷却ロール。